



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月5日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 岡村製作所  
コード番号 7994 URL http://www.okamura.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 雅行  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 潔 (TEL) 045-319-3445  
四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	170,744	1.3	6,174	△6.5	7,068	△2.3	4,777	△1.5
29年3月期第3四半期	168,520	△0.9	6,604	△2.7	7,233	△3.8	4,850	4.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 9,172百万円( 91.5%) 29年3月期第3四半期 4,790百万円( △18.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	43.37	—
29年3月期第3四半期	44.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	224,430	120,524	53.5
29年3月期	218,741	114,249	52.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 120,176百万円 29年3月期 113,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	243,000	2.6	12,500	5.8	13,200	3.4	8,900	7.3	80.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	112,391,530株	29年3月期	112,391,530株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	2,237,448株	29年3月期	2,233,725株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	110,155,792株	29年3月期3Q	110,162,164株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の国内経済は、企業収益や雇用環境は引き続き改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、特徴ある製品づくりやトータル・ソリューション提案による新しい市場創出、各事業分野でのシェア拡大と新規顧客開拓に努めるとともに、生産性向上やコストダウンを推進してまいりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
オフィス環境事業	84,708	87,056	2,348	3,995	3,698	△297
商環境事業	72,001	71,875	△126	2,530	2,128	△401
その他	11,810	11,812	2	78	347	269
合計	168,520	170,744	2,224	6,604	6,174	△429

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、オフィス需要は底堅いものの、大規模オフィスビルの供給は短期的な端境期にあり、大型移転案件の減少が見られました。このような状況のもと、オフィスでの働き方変革や健康への関心の高まりに対する新しいオフィス環境づくりを積極的に提案してまいりました。また、業績が好調な企業や学校、図書館や地方自治体等のオフィス周辺市場への積極的営業活動にも努めましたが、資材価格の上昇もあり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は増加したものの、利益は減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、87,056百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は、3,698百万円（前年同四半期比7.4%減）となりました。

## 商環境事業

商環境事業につきましては、食品スーパー、ドラッグストアなど業績が好調な小売業界を中心に、店舗什器、カート機器、セキュリティ製品など総合力を活かしたトータル提案を強化し、冷凍冷蔵ショーケースのシェアアップやコスト低減に努めましたが、資材価格の上昇もあり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は横ばい、利益は減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、71,875百万円（前年同四半期比0.2%減）、セグメント利益は、2,128百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

## その他（物流機器事業他）

物流機器事業につきましては、食品、医薬、通販などの有力分野や自動倉庫の拡販に注力するとともに、他事業とのコラボレーションを強化し、提案力と優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な営業活動に努めたことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は横ばいながら、利益は大幅に増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、11,812百万円（前年同四半期比0.0%増）、セグメント利益は、347百万円（前年同四半期比343.9%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高170,744百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益6,174百万円（前年同四半期比6.5%減）、経常利益7,068百万円（前年同四半期比2.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,777百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、次のとおりであります。

総資産については、前連結会計年度末から5,689百万円増加し、224,430百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加、売上債権の減少を主な要因として2,424百万円減少し、固定資産は、投資有価証券の増加を主な要因として8,113百万円増加いたしました。

負債については、短期借入金の増加、仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金の減少を主な要因として、前連結会計年度末から586百万円減少し、103,905百万円となりました。

純資産については、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加を主な要因として、前連結会計年度末から6,275百万円増加し、120,524百万円となり、自己資本比率は1.5ポイント上昇して53.5%となりました。

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益7,067百万円、減価償却費4,044百万円及び売上債権の減少額12,464百万円等による増加と、賞与引当金の減少額1,749百万円、たな卸資産の増加額2,798百万円、仕入債務の減少額2,878百万円及び法人税等の支払額3,910百万円等による減少の結果、13,001百万円の資金増加（前年同四半期は11,020百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得3,198百万円及び投資有価証券の取得1,537百万円等による減少の結果、5,652百万円の支出（前年同四半期は3,546百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額3,999百万円等による増加と、配当金の支払額2,482百万円等による減少の結果、448百万円の増加（前年同四半期は2,312百万円の増加）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から7,881百万円増加（前年同四半期は9,454百万円の増加）し、33,343百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました業績予想数値を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,536	34,701
受取手形及び売掛金	64,565	52,100
有価証券	10	-
商品及び製品	10,113	12,033
仕掛品	1,467	2,152
原材料及び貯蔵品	4,384	4,577
その他	4,383	3,404
貸倒引当金	△137	△72
流動資産合計	111,322	108,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,268	14,747
土地	28,072	27,892
その他(純額)	12,931	13,539
有形固定資産合計	56,273	56,178
無形固定資産		
のれん	18	8
その他	4,505	4,134
無形固定資産合計	4,523	4,142
投資その他の資産		
投資有価証券	32,632	40,633
その他	14,023	14,610
貸倒引当金	△33	△32
投資その他の資産合計	46,622	55,211
固定資産合計	107,419	115,533
資産合計	218,741	224,430

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,007	22,910
電子記録債務	16,398	20,649
短期借入金	6,147	10,139
1年内返済予定の長期借入金	1,115	1,507
1年内償還予定の社債	5,000	-
未払法人税等	2,988	458
賞与引当金	3,685	1,935
その他	5,018	5,740
流動負債合計	70,362	63,341
固定負債		
社債	5,000	10,000
長期借入金	6,227	5,403
退職給付に係る負債	15,674	16,469
その他	7,227	8,691
固定負債合計	34,129	40,564
負債合計	104,491	103,905
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,762	16,766
利益剰余金	70,819	72,948
自己株式	△2,422	△2,427
株主資本合計	103,829	105,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,256	14,572
為替換算調整勘定	56	159
退職給付に係る調整累計額	△452	△513
その他の包括利益累計額合計	9,860	14,218
非支配株主持分	559	348
純資産合計	114,249	120,524
負債純資産合計	218,741	224,430

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	168,520	170,744
売上原価	116,402	118,305
売上総利益	52,117	52,439
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	7,297	7,381
給料及び手当	15,091	15,745
賞与引当金繰入額	1,424	1,318
賃借料	5,442	5,873
その他	16,256	15,945
販売費及び一般管理費合計	45,512	46,264
営業利益	6,604	6,174
営業外収益		
受取利息	16	13
受取配当金	517	604
持分法による投資利益	306	223
その他	512	524
営業外収益合計	1,353	1,367
営業外費用		
支払利息	188	149
固定資産除売却損	78	161
その他	457	162
営業外費用合計	725	473
経常利益	7,233	7,068
特別利益		
投資有価証券売却益	2	-
子会社清算益	25	-
特別利益合計	28	-
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	7,260	7,067
法人税、住民税及び事業税	1,736	1,453
法人税等調整額	604	802
法人税等合計	2,341	2,256
四半期純利益	4,919	4,810
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,850	4,777

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	4,919	4,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	387	4,322
為替換算調整勘定	△408	65
退職給付に係る調整額	5	△61
持分法適用会社に対する持分相当額	△112	35
その他の包括利益合計	△128	4,361
四半期包括利益	4,790	9,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,762	9,143
非支配株主に係る四半期包括利益	28	28

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,260	7,067
減価償却費	3,847	4,044
子会社清算損益(△は益)	△25	-
持分法による投資損益(△は益)	△306	△223
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△42	△65
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,759	△1,749
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	586	475
受取利息及び受取配当金	△534	△618
支払利息	188	149
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	-
売上債権の増減額(△は増加)	15,268	12,464
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,665	△2,798
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,630	△2,878
未払消費税等の増減額(△は減少)	△472	22
その他	912	540
小計	15,625	16,429
利息及び配当金の受取額	549	635
利息の支払額	△200	△152
法人税等の支払額	△4,954	△3,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,020	13,001
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△997	△1,164
定期預金の払戻による収入	1,268	883
有形固定資産の取得による支出	△3,429	△3,198
無形固定資産の取得による支出	△506	△674
投資有価証券の取得による支出	△720	△1,537
投資有価証券の売却及び償還による収入	828	10
その他	11	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,546	△5,652
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,953	3,999
長期借入れによる収入	533	609
長期借入金の返済による支出	△1,196	△1,048
社債の発行による収入	-	5,000
社債の償還による支出	-	△5,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,695	△2,482
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△236
その他	△282	△391
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,312	448
現金及び現金同等物に係る換算差額	△331	84
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,454	7,881
現金及び現金同等物の期首残高	27,547	25,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,002	33,343

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	84,708	72,001	156,710	11,810	168,520	—	168,520
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	84,708	72,001	156,710	11,810	168,520	—	168,520
セグメント利益	3,995	2,530	6,526	78	6,604	—	6,604

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流機器事業及び流体変速機事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	87,056	71,875	158,932	11,812	170,744	—	170,744
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	87,056	71,875	158,932	11,812	170,744	—	170,744
セグメント利益	3,698	2,128	5,827	347	6,174	—	6,174

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流機器事業及び流体変速機事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。